

診療科紹介 整形外科

整形外科と聞いて皆さんはどのような医療内容を思い浮かべられるでしょうか？

新聞・テレビなどで誤った場面に使用されるので一部には顔の形を変えたりする美容形成外科と混同されている方もいらっしゃるかもしれませんが、**整形外科とは骨・関節・筋肉・脊髄・末梢神経といった人間が体を自分の意思で動かす為のさまざまな臓器の病気やケガを扱う診療科**です。

人間が人間らしく生活してゆく為には、これらの体の運動に関係する臓器、すなわち「運動器」が痛みを感じる事無く、スムーズに動いてくれてしっかり支えてくれるような健康状態が維持されている必要があります。

日本は世界で一番の長寿国となりましたが、高齢者の多くの方々が腰痛・膝関節痛・骨折に代表される「運動器」の障害・病気・ケガに悩まされます。「運動器」がうまく機能しなければ、自分で歩いて買い物や旅行を楽しむこともできなくなり、ひどくなると寝たきりになってしまう可能性も出てきます。

また、若い方のスポーツ障害や成長期の「運動器」の問題、交通外傷や労働災害による外傷といった社会的に重要な救急外傷への対処といった仕事も整形外科の重要な役割です。

県西部浜松医療センター整形外科では、市民の皆さんに「運動器」の大切さに気づいていただき、単に寿命が延びるだけでなく人間らしく活動できる「健康寿命」を延ばしていただけるように「運動器」の病気やケガと日夜戦っております。

県西部浜松医療センター整形外科では「運動器」の疾患の中でも特に成人股関節疾患に対する手術的治療に重点を置いており、「**股関節再建・人工関節センター**」として活動しております。変形性股関節症、大腿骨頭壊死症、人工股関節のゆるみなどによる問題などが主な対象となる病気です。その他、膝・肩関節、脊椎などの病気や外傷なども重要な診療項目です。

高齢社会となり、大腿骨近位部骨折、脊椎圧迫骨折などお年寄り骨折患者さんも増加し続けており、地域のリハビリテーションの病院やクリニックなどとも連携を取り、手術治療に特化した診療体制を構築しています。

(文責：整形外科長 岩瀬敏樹)



ふれあい



平成22年3月から外来化学療法室が新しく大きくなりました。化学療法を受けられる方がリラックスして治療を受けていただけると幸いです。

目次

- ◆ 外来化学療法室が新しくなりました。
- ◆ 第10回市民公開講座開催「よくわかる！口腔の病気」
- ◆ お薬情報局：お薬の保管方法について
- ◆ 診療科の変更および新設について
- ◆ 診療科紹介：整形外科

～ ご自由にお持ち下さい ～

看護師募集中

～ 詳しくはホームページをご覧ください ～

県西部浜松医療センター

検索

〒432-8580 浜松市中区富塚町328

TEL 053(453)7111

: FAX 053(452)9217

URL <http://www.hmedc.or.jp>

: E-Mail koho@hmedc.or.jp

発行：県西部浜松医療センター 広報委員会



外来化学療法室が新しくなりました。



このたび外来化学療法室がリニューアルオープンしました。場所を2号館2階のエレベーターを降りた目の前に移し、日当たりがとてもよい明るい部屋になりました。治療用の椅子やベッドの数も5床から13床に増やし、部屋も広々としたゆとりのある空間になっています。

これまで外来化学療法室の予約が取れなくてご迷惑をおかけしていましたが、これからは、すべての患者さんがこの部屋で治療を受けていただけるようになりました。専任の看護師が常駐し、「より快適に、より安心して治療を受けていただく」を合言葉に、責任をもって皆様の治療を管理させていただきます。また、がん化学療法看護認定看護師やがん薬物療法認定薬剤師が勤務しておりますので、心配なことや困っていることなどがありましたら、お気軽に声をかけてください。患者さんがご家庭や社会での役割を果たしながら、安心して治療が受けられるようにスタッフ一同全力でサポートいたします。

春には外来駐車場の桜が満開です。外来化学療法室から見える桜を見ながら、ゆったりとした気分で治療を受けていただけることをスタッフ一同楽しみにしています。

(がん化学療法看護認定看護師 神谷智子)

お薬情報局：お薬の保管方法について

病院・薬局でいただいたお薬は、それぞれ薬によって保管方法が違います。お薬は、保管状態が悪いと変化を受けやすく、効果に悪影響を及ぼすことがあります。いちばん注意が必要なことは、**高温、多湿、直射日光の3点を避ける**ことです。主な薬の保管方法における注意事項をあげます。

◎錠剤・カプセル剤・散剤

湿気が多い梅雨の時期は、水分を吸収して変化を起しやすいので、できるだけ低湿度で高温にならない場所に保管してください。できればフタの閉まる缶等に乾燥剤を入れて保管してください。

◎シロップ剤

冷蔵庫など冷暗所に保管してください。凍結しますとお薬が変化するものがありますので凍らないよう注意してください。又水薬のカップや薬びんの口などは細菌汚染を受けやすいので常に清潔に保ってください。水などで薄めてある水薬は、長期保存できませんので決められた期間の服用で、期間のすぎた水薬は服用しないようにしてください。

◎点眼剤

使用中の点眼薬と冷所保管の指示のある点眼薬は、冷蔵庫に保管してください。遮光の必要な点眼薬は、遮光袋に入れて保管してください。開封した点眼薬の使用期限はそれぞれ違いますので薬剤師の指示に従ってください。未使用の点眼薬は使用期限内使用できます。

◎坐薬

気温の高い時期は、溶けやすいので冷蔵庫など冷暗所に保管してください。一度溶けてしまった坐薬は、原則使用しないでください。

◎インスリン

インスリン注射薬は、凍結を避けて冷蔵庫など冷暗所に保管してください。ただし、使用中のペン型インスリン注射薬は結露を避けるため冷蔵庫に入れないで、温度が上がらないように注意して保管してください。

(薬剤科長 片山一孝)



第10回市民公開講座「よくわかる！口腔の病気」

今回は「口腔の病気」がテーマです。口腔は「食べる」「話す」といった人として生活する上で大変重要な機能を持った器官ですが、その病気に関してはあまり知られていません。そこで口腔の病気についての概要を説明するとともに、口腔がん治療の最新治療法と高齢化社会を迎え増えている口腔乾燥についての最新情報を市民にわかりやすく説明します。

日時：平成22年5月22日(土) 14時から(13時30分開場予定)

場所：アクトシティ浜松コンgressセンター31会議室

講演1

口腔外科で扱う疾患

歯科口腔外科長 内藤 克美

入場無料

講演2

口腔(こうくう)がんの治療あれこれ

歯科口腔外副医長 中埜 秀史

講演3

きになる？どうする？口のかわき

歯科口腔外医長 舘島 桂子

講演4

お口のケア

歯科衛生士 北川 有佳里



診療科の変更および新設について

平成22年4月から診療科の変更と、新しく2つの診療科を開設いたしますので、ご案内申し上げます。

《変更》

腎臓こう原病科 → 腎臓内科

(担当医師名：大石和久、田原大悟、武田明日美)

・外来日時の変更はありません。

《新設》

リウマチ膠原病科

(担当医師名：鈴木大介)

・外来日：月曜日 8時30分から11時まで

漢方外来

(担当医師名：玉嶋 貞宏)

・外来日：木曜日 14時から16時まで